

化学科講演会のお知らせ

講演題目： 効率的かつ選択的な触媒的アルコール酸化反応の開発を目指して

講師： 澁谷 正俊 博士
(日本女子大学 理学部 准教授)

日時： 12月19日(木)
16時30分～

場所： 南7号館 101 教室

アルコールからカルボニル化合物への酸化反応は、有機合成における最も基本的な反応のひとつであるため、これまでに様々な手法が開発されてきた。しかしながら、大量スケールでの実施や多官能性基質における化学選択的変換に対しては、未だに有効な手法がない場合も多い。私たちは、数少ない工業プロセスへも実施可能な酸化手法である有機ニトロキシラジカル 2,2,6,6-テトラメチルピペリジン 1-オキシル(TEMPO)を触媒とする方法に着目して、より高活性な酸化触媒 2-アザアダマンタン *N*-オキシル(AZADO)を開発した。この触媒の開発を契機として、アルコールの酸化においては最も理想的とされる空気中の分子状酸素を酸化剤とする反応や既知の反応では難しい化学選択的酸化に対して有効な反応を見出してきたので、これらについて紹介する。

問い合わせは草間まで